

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 4 年 11 月 14 日(2022.11.14)

【公開番号】特開 2021-82927(P2021-82927A)

【公開日】令和 3 年 5 月 27 日(2021.5.27)

【年通号数】公開・登録公報 2021-024

【出願番号】特願 2019-208242(P2019-208242)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/04(2006.01)

G 0 6 T 1/00(2006.01)

H 0 4 N 1/387(2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/04 1 0 6 A

H 0 4 N 1/12 Z

G 0 6 T 1/00 4 3 0 J

H 0 4 N 1/387 8 0 0

10

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 11 月 4 日(2022.11.4)

20

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原稿が載置されるトレイと、

前記トレイに載置された前記原稿を搬送方向に搬送する搬送路と、

前記搬送方向とは直交する幅方向に移動可能な様に構成される第 1 規制部材及び第 2 規制部材を有し、前記トレイに載置された前記原稿を前記幅方向の両側から抑える規制手段と、

30

前記搬送路の読取位置において画像を読み取る読取手段と、

前記原稿が前記読取位置に到達する前から、少なくとも前記原稿が前記読取位置を抜けるまでの間に前記読取手段が読み取った画像データが示す読取画像における前記原稿の角度の値を検出する検出手段と、

前記画像データを補正する補正手段と、

前記検出手段が検出した前記角度の値に基づき前記補正手段を制御する制御手段と、を備え、

前記制御手段は、前記検出手段が検出した前記角度の値が閾値より大きく、かつ、前記幅方向のサイズが異なる複数の前記原稿が前記トレイに載置される混載モードである場合、前記読取画像における前記原稿の角度が前記閾値であるものとして前記補正手段に前記画像データの補正を行わせ、前記検出手段が検出した前記角度の値が前記閾値より大きく、かつ、前記混載モードではない場合、前記補正手段に前記画像データの補正を行わせないことを特徴とする画像読取装置。

40

【請求項 2】

前記検出手段が検出する前記読取画像における前記原稿の角度は、前記原稿の前記搬送方向における先端側の辺の前記幅方向に対する角度であり、

前記補正手段は、前記読取画像における前記原稿の角度が前記閾値であるものとして前記画像データの補正を行う場合、補正後の前記画像データが示す画像における前記原稿の

50

前記先端側の辺の方向が前記幅方向に近づく様に、前記閾値だけ前記原稿を回転させる補正を前記画像データに対して行うことを特徴とする請求項 1 に記載の画像読取装置。

【請求項 3】

前記検出手段が検出した前記角度の値が前記閾値以下である場合、前記補正手段は、補正後の前記画像データが示す画像における前記先端側の辺の方向が前記幅方向となる様に前記画像データを補正することを特徴とする請求項 2 に記載の画像読取装置。

【請求項 4】

原稿が載置されるトレイと、

前記トレイに載置された前記原稿を搬送方向に搬送する搬送路と、

前記搬送方向とは直交する幅方向に移動可能な様に構成される第 1 規制部材及び第 2 規制部材を有し、前記トレイに載置された前記原稿を前記幅方向の両側から抑える規制手段と、

前記搬送路の読取位置において画像を読み取る読取手段と、
を有する画像読取装置から、前記読取手段が読み取った画像データを取得して処理する画像処理装置であって、

前記画像データは、前記原稿が前記読取位置に到達する前から、少なくとも前記原稿が前記読取位置を抜けるまでの間に前記読取手段が読み取ったデータであり、

前記画像処理装置は、

前記画像データが示す読取画像における前記原稿の角度の値を検出する検出手段と、

前記画像データを補正する補正手段と、

前記検出手段が検出した前記角度の値に基づき前記補正手段を制御する制御手段と、
を備え、

前記制御手段は、前記検出手段が検出した前記角度の値が閾値より大きく、かつ、前記幅方向のサイズが異なる複数の前記原稿が前記トレイに載置される混載モードである場合、
前記読取画像における前記原稿の角度が前記閾値であるものとして前記補正手段に前記画像データの補正を行わせ、前記検出手段が検出した前記角度の値が前記閾値より大きく、かつ、前記混載モードではない場合、前記補正手段に前記画像データの補正を行わせないことを特徴とする画像処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明の一態様によると、画像読取装置は、原稿が載置されるトレイと、前記トレイに載置された前記原稿を搬送方向に搬送する搬送路と、前記搬送方向とは直交する幅方向に移動可能な様に構成される第 1 規制部材及び第 2 規制部材を有し、前記トレイに載置された前記原稿を前記幅方向の両側から抑える規制手段と、前記搬送路の読取位置において画像を読み取る読取手段と、前記原稿が前記読取位置に到達する前から、少なくとも前記原稿が前記読取位置を抜けるまでの間に前記読取手段が読み取った画像データが示す読取画像における前記原稿の角度の値を検出する検出手段と、前記画像データを補正する補正手段と、前記検出手段が検出した前記角度の値に基づき前記補正手段を制御する制御手段と、
を備え、前記制御手段は、前記検出手段が検出した前記角度の値が閾値より大きく、かつ、前記幅方向のサイズが異なる複数の前記原稿が前記トレイに載置される混載モードである場合、
前記読取画像における前記原稿の角度が前記閾値であるものとして前記補正手段に前記画像データの補正を行わせ、前記検出手段が検出した前記角度の値が前記閾値より大きく、かつ、前記混載モードではない場合、前記補正手段に前記画像データの補正を行わせないことを特徴とする。

10

20

30

40

50